Partial English Translation of

No. 61-166183A for Utility Model

2. [Claim]

A compressor including, in an inlet port and/or a discharge port (7), a valve (12) having one end thereof fixed to a valve seat (8) and the another end facing a valve hole (9) provided in the valve seat (8) to be a free end, characterized in that:

the valve hole (9) is constituted by a plurality of valve holes (9) of which each area is approximately as large as an effective sectional area which does not cause over-compression; and

a joint part (10) for jointing the valve seat (8) is provided among the valve holes (9).

⑩日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

母 公開実用新案公報(U)

昭61-166183

©Int_Cl.4 F 04 B 39/10 F 04 C 29/00 # F 16 K 15/16

庁内整理番号

C-6649-3H D-8210-3H 8512-3H

,

❸公開 昭和61年(1986)10月15日

審査請求 未請求 (全3頁)

❷考案の名称 圧縮機

②実 顧 昭60-48876

❷出 願 昭60(1985)4月2日

砂考案者 萩原

茂 草

文

識別記号

堺市金岡町1304番地 ダイキン工業株式会社堺製作所金岡

工場内

⑦考 案 者 藤 本

悟 堺

堺市金岡町1304番地 ダイキン工業株式会社堺製作所金岡

工場内

で 考案者 谷口

堺市金岡町1304番地 ダイキン工業株式会社堺製作所金岡

工場内

砂出 顋 人 ダイキン工業株式会社

大阪市北区梅田1丁目12番39号 新阪急ビル

砂実用新薬登録請求の範囲

吸入ポートおよび/または吐出ポート7に、弁 座8に一端を固定し他端を弁座8に穿設した弁孔 9に臨ましめて自由端とした弁12を有する圧縮 機において、前記弁孔9を過圧縮を起さない程度 の有効断面積とほぼ等面積となる複数個の弁孔 9、9…で構成し、前記弁孔9、9…間に弁座8 に接合する接合部10を設けたことを特徴とする 圧縮機。 1図aは第2図A部の要部拡大縦断面図、第1図 bはそのb-b視図、第2図は圧縮機全体の縦断 面図、第3図および第4図は性能説明図、第5図 は第1図aに対応する従来装置の要部拡大縦断面 図である。

7……吐出ポート、8……弁座、9……弁孔、9 a……吐出孔、10……接合部、12……弁、12 a……吐出升。

図面の簡単な説明

第1図ないし第3図は本考案圧縮機であり、第







